

「海と宙の未来」展

OPAM初となる科学系企画「海と宙の未来」展。深海と宇宙をテーマに、JAXA(国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構)とJAMSTEC(国立研究開発法人海洋研究開発機構)が初めてコラボレーションするという、「エポックメイキング」なイベントとなりました。「未知への挑戦〜夢を追う人々〜」をテーマに、1階アトリウムには歴代ロケットの模型や、日本初の純国産大型ロケット「H-IIロケット」の「LE-7」エンジンの実物、潜水調査船「しんかい6500」、海底資源を探る自立型無人探査機「ゆめいるか」の大型模型などがずらりと並び、いつものOPAMとは違った空間が出現。3階コレクション展示室には、2010年に奇跡の帰還が話題となった小惑星探査機「はやぶさ」の実物大カプセルの模型や、「しんかい6500」が撮影した映像、小惑星「リュウグウ」を探索中の「はやぶさ2」が撮影した最新画像なども紹介しました。期間中は関連事業も多数催され、10月4日にはアバター遠隔教育実証事業として、遠方の小学校とOPAMをウェブで繋ぎ、小学生が遠隔操作ロボット「Beam Pro」を使って展示物を見学する遠隔学習も開催。画面を通してアトリウム内を自由に見学し、積極的に質問を行っていました。



OPAM 10/11(木)

JAMSTEC(海洋研究開発機構) 高井研博士講演会

「大分から世界の、宇宙の海へ漕ぎ出そう。
「ワンピース」を求めて」

別府市内の高校生900名が招待され、「なぜ勉強をしないとイケないのか」など「学校では教えてもらえないこと」から講演がスタート。現在は土星の衛星にある海に探査機を送るプロジェクトを計画していて、「探査とは知りたいと思う生命本能。そして冒険心、好奇心、虚栄心、欲張り。これこそが『ワンピース』。大きな秘宝だ!」と語りました。高井さんの研究や発見の役立ちについての質問に、「直接役には立たないが、今日の話面白い!と思ってくれたら役割が果たせている。誰かの好奇心が次の誰かの好奇心につながればいい!」と答えました。



OPAM 10/16(火)

JAXA(宇宙航空研究開発機構) 油井亀美也宇宙飛行士講演会

「未知への挑戦」

iiichikoグランシアタで行われた講演会には、地元の中学・高校・高等専門学校生が会場に招かれたほか、県内の小学校～高校、特別支援学校にも講演会の様子が配信されました。約330倍の倍率の難関を突破し、航空自衛隊員から念願の宇宙飛行士になったという油井亀美也さん。「2～3カ月に一度、大分空港で離着陸など訓練をしている」という言葉に、油井さんとの距離が一気に縮まりました。講演後には多くの質問の手が上がり、油井さん自ら質問者の元まで行って、直接話ができるというサプライズも。参加者の関心の高さが伺えました。